

社内外の知恵を集めて 明るい職場環境を実現

ヤマハモーターソリューション株式会社

ヤマハモーターソリューション株式会社はヤマハ発動機株式会社の全額出資の情報システム子会社として昭和62年に設立されて以来、ヤマハ発動機グループの全事業領域に関わる幅広いITソリューションを提供している。人材こそ財産と考える社風の下、外部の専門家の協力も得ながら総務部門を中心に知恵を出しつつ従業員の健康づくりを進めており、今回はその精力的な産業保健活動の一端を紹介する。

全従業員との対話活動とVDT健診の導入

「私が3年前に親会社から出向してきたときの第一印象は社内の疲弊感でした。仕事柄、ほとんどの従業員が終日パソコンと向き合っていることも多く、職場に元気がないように感じました。その頃、取り組んでいた複数の大規模プロジェクトのプレッシャーもあってかメンタルヘルス面での不調を訴える従業員が増加していました。こうした中、会社の経営トップは200名近くの派遣社員も含め、誰もがいきいきと働ける環境づくりこそ最重要課題と捉え、調和を重視したプロジェクトマネジメント手法の導入と並行して、自ら『社長に聞く』と銘を打ち年に一度すべての従業員と対話する機会を設け、従業員の声を丁寧に拾う取り組みを始めました。その後、私も加わり昨年からは社長と2人で対応していますが、職場の疲弊感は従業員の健康状態と関係していることも多く、総務部で取り組むべき課題がより明確になりました。現在は、外部の専門家の意見を取り入れつつ、総務部のメンバーで知恵を出し合い、時間外労働の削減、有給休暇の計画的取得のほか、VDT健診やカウンセリング体制の充実、ストレッチ体操の導入といった取り組みを進め

ています」と語るのは、総務部が所属する『マネジメントセクタ』の長でもある大澤保明取締役。今回、このマネジメントセクタ部門から大澤取締役を筆頭に5名のスタッフが同席、日頃の産業保健活動に対する真摯な姿勢が窺えた。全員の発言を網羅できないため名前を列記させて頂くと、本田正弘さんと神田崇史さんは、健康管理を担う業務の窓口として外部の専門家の産業医や保健師と綿密な連絡を取り、従業員の健康づくりの先頭に立っている。職場巡視などでメンタルヘルス不調者の信



ストレッチ体操で心身をリラックス

号をキャッチする等、経営トップによる全従業員との対話活動を補完する役割も果たしている。間瀬訓子統括部長からは、社員の3割を占める女性従業員の出産後の復職率の高さについて発言があった。同社では、親会社の制度に準じて2年間の産休・育休が保証されている。制度の充実と出産後の復職を自然に受け入れる社風があるため復職率は100%に近いと間瀬統括部長は強調した。また、大堀康彦総務部長は、親会社の整備された制度に追随しながらも社内外の知恵を集めて独自の取組みを進めてきた成果が現れつつあることを指摘した。さらにもう一人、外部の専門家として労働衛生コンサルタントの青山京子保健師も同席。6名に共通するのは、誰もが健康で働き続けられる職場づくりへの思いの深さであった。

「平成19年からの付き合いですが、最近の健康づくりに対する全社挙げての取組みは目を見張るものがあります。当初は産業医に同行する形で職場巡視や健康相談を実施していましたが、7年前からお互いの専門性を活かした活動を進めています。また、健診のデータも確認していますが、VDT健診の問診はメンタルヘルスに関連したものが多く、健診の事後指導においてメンタルヘルス不調が顕在化する前に予防的対応ができるようになったのは大きな収穫でした」と青山さん。「また、産業医や青山保健師に加え、心理学の専門家によるカウンセリングの仕組みも取り入れました。随時対応が可能なカウンセリング窓口の開設はメンタルヘルス不調者の減少につながっています。健康づくりの施策を検討・実施する上で、外部の専門家の協力は不可欠です」と間瀬統括部長は語る。

ストレッチ体操でリフレッシュ

同社では、心身のリフレッシュを目的に、始業前と午後3時の2回ストレッチ体操を実施している。朝の体操はヤマハ発動機グループ全体で行うもので、「Revストレッチ」と呼ばれている。これはヤマハ発動機グループのブランドスローガン「Revs your Heart」をテーマにしたオリジナルの体操で、昨年10月に導入された。参加は任意ではあるが、業務開始前の体と心の準備ができると多くの従業員が積極的

に参加している。「朝の体操の後には『朝会』と呼ばれるミーティングを各職場で開きます。ストレッチ体操は心身をリフレッシュさせる効果があるため、従業員の『朝会』での集中力向上に寄与しています」と大澤取締役。一方、午後3時からの体操は同社の従業員が独自に考案したものである。「発案者はストレッチ体操の勉強会に通い、専門家の意見を聞きながらVDT作業の負担軽減を意識した動きを取り入れた体操を開発しました。また、導入後も職場でアンケートを取り、より効果的な体操に進化できるよう工夫を凝らしています」と本田さん。

今後の課題

「午後3時のストレッチ体操は就業時間内の実施ですが、仕事の手を止めてでも全員で行う価値があるものと考えています。システム開発を生業とする当社にとって、人材こそが財産であり、今後もシステムエンジニアが心身の健康を保ち成長し続けて行ける職場環境づくりを目指して行きます。当社は中小企業ではありますが、幸いにも親会社の福利厚生制度に準じた制度はよく整備されているため、そこに大きな問題は抱えていません。しかし、情報システム子会社という仕事の性質上、絶えず職場の状況に目を配り健康づくりに独自の工夫を加えて行くことが必要です。これまでに取り組んできたさまざまな施策により、メンタルヘルス不調者は着実に減少しています。この事実は、心身の健康づくりに特効薬はなく、小さなことを積み重ねていく大切さを改めて教えてくれました。今後は10月の定期健診に合わせてストレスチェックを実施する予定です。さらに、従業員一人ひとりのやる気をさらに高めるための人事制度の改定も検討しており、明るく元気な職場づくりを担う総務部の役割はますます重要になります」と大澤取締役は力を込めた。

会社概要

ヤマハモーターソリューション株式会社
事業内容：ヤマハ発動機グループへのITサービス・ソリューションの提供
設立：昭和62年
従業員：292人
所在地：静岡県磐田市